

ものづくり実務における論理思考の実践活用（演習付）

日時	詳細は案内メール、HP をご覧ください。	会場：WEB 配信方式
受講料	税抜き 49800 円（税込み 54780 円）テキスト付 & 主催講座特典	
講師	ジャパン・リサーチ・ラボ 代表 博士（工学） 奥村 治樹	
受講対象	得られる知識、スキル	
<ul style="list-style-type: none"> ・論理立てて物事をまとめられない人 ・仮説思考、論理思考が苦手な人 ・結果が何を意味するのか見い出せない人 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な論理思考の基本 ・論理思考ツールの実践で使い方 ・複数の論理思考の組み合わせ方 	
概要	<p>ものづくりのコア、起点であり、基盤となるものが研究開発です。したがって、研究開発のレベルがその企業のものづくりのレベルを決めると言っても過言でもありません。</p> <p>研究開発を進める上では様々なスキルが要求されますが、その中でも最も重要なものの一つが論理思考です。そのため、ロジカルシンキングなどの人事研修が多くの企業で行われていますが、残念ながら実務ではほとんど活用できていません。帰納法や演繹法と言ったツールや知識だけを得ても実務では役に立ちません。</p> <p>本講では、単なるツールや知識と言った教科書レベルではなく、様々な研究開発の実務の中で、それらをどのような場面でどう使うのかといった、実務における論理思考の実践活用について事例や演習を交えて解説します。</p>	
●	<p>【論理思考の基本】</p> <p>ベースとなる論理思考とはいったいどのようなものであるのかについて、単なる言葉の定義ではなく、その構造を含めてイントロダクションとして整理します。</p>	
●	<p>【研究開発のための思考の基本】</p> <p>論理思考と共に、事象の捉え方、考え方といったものづくり、研究開発の基盤となる技術者が持つべき「思考」について解説します。</p>	
●	<p>【基本的論理思考プロセス】</p> <p>帰納法や演繹法に代表される論理思考の基本プロセスについて事例を交えて、使い方、注意点、ポイントなどについて解説します。</p>	
●	<p>【論理思考のためのツール】</p> <p>フレームワークなどの論理思考を進めていく上で知っておくべき、使いこなせるべき関連ツールについて解説します。</p>	
●	<p>【論理の検証】</p> <p>論理思考において論理の構築と共に必須となる論理の検証について解説します。</p>	
●	<p>【応用演習】</p> <p>実際の実務を想定した内容をテーマとして、解説で学んだ論理思考プロセス、ツールの使いこたえを深化し、実務活用について学びます。</p>	
●	<p>【まとめ】と質疑</p>	
<p>詳細は、HP をご覧ください</p>		
お申し込み	https://analysis.ikaduchi.com/tsushin-form.html または HP お問い合わせより	

URL : <http://analysis.ikaduchi.com>
 e-mail : haru777@star.email.ne.jp